



PRESS RELEASE

新事業開発・アライアンス助成事業の新規採択について

東経連ビジネスセンター※は、新事業開発・アライアンス助成事業において、4件の採択を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、同助成の採択件数は、今回の4件を加え、累計52件となります。

※ (一社)東北経済連合会が平成23年4月に設立した東北地域の産学連携や、企業のマーケティング等の事業化支援を行う支援センターです。

記

No.	支援先	支援テーマ	所在地
1	(株)浄法寺漆産業	自動車内装部品の漆塗装に関する密着性の向上と製品化	岩手県盛岡市
2	(株)サンアイ精機	切削用永久磁石式マグネットチャックの開発	岩手県奥州市
3	(株)C & A	非イリジウム系難加工性合金の線材化技術の開発	宮城県仙台市
4	(株)ソルテック	プレス曲げ加工カシメによる高強度で溶接不要な箱型形状コーナ部接合加工技術の開発	山形県米沢市

■リリースに関するお問い合わせ先

東経連ビジネスセンター 亀澤、西山
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10 セントレ東北11階
(一般社団法人 東北経済連合会 事務局内)
Tel. 022-397-9098 Fax. 022-262-7055 <http://tokeiren-bc.jp/>

■(株)浄法寺漆産業(岩手県盛岡市、代表取締役:松沢 卓生 氏)

- ・ 支援テーマ : 「自動車内装部品の漆塗装に関する密着性の向上と製品化」
- ・ 支援期間 : 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月
- ・ 支援先概要 : (株)浄法寺漆産業 (平成 21 年創業、資本金 300 万円、従業員数 3 名)
- ・ 共同開発先 : 岩手県工業技術センター
- ・ 業務内容 : 漆の精製及び販売、漆製品・工芸品の企画、製作、販売並びにコンサルティング
- ・ 開発内容 : 国内で消費される漆のうち国産のものは 2%程度であり、国産漆は非常に希少な原料であるにもかかわらず、これまでその用途は漆器類に限定されてきました。(株)浄法寺漆産業では、より付加価値の高い商品として自動車のステアリングやアクセサリーに国産漆を使用した商品の開発を行っておりますが、樹脂に対する漆の密着性の向上が課題となっています。

本事業では、この課題を解決するために、岩手県工業技術センターと連携し、樹脂と漆の密着技術の開発を目指します。

本技術が実用化されると、漆工芸品の高付加価値化とともに、漆産地の活性化にも繋がることが期待されます。



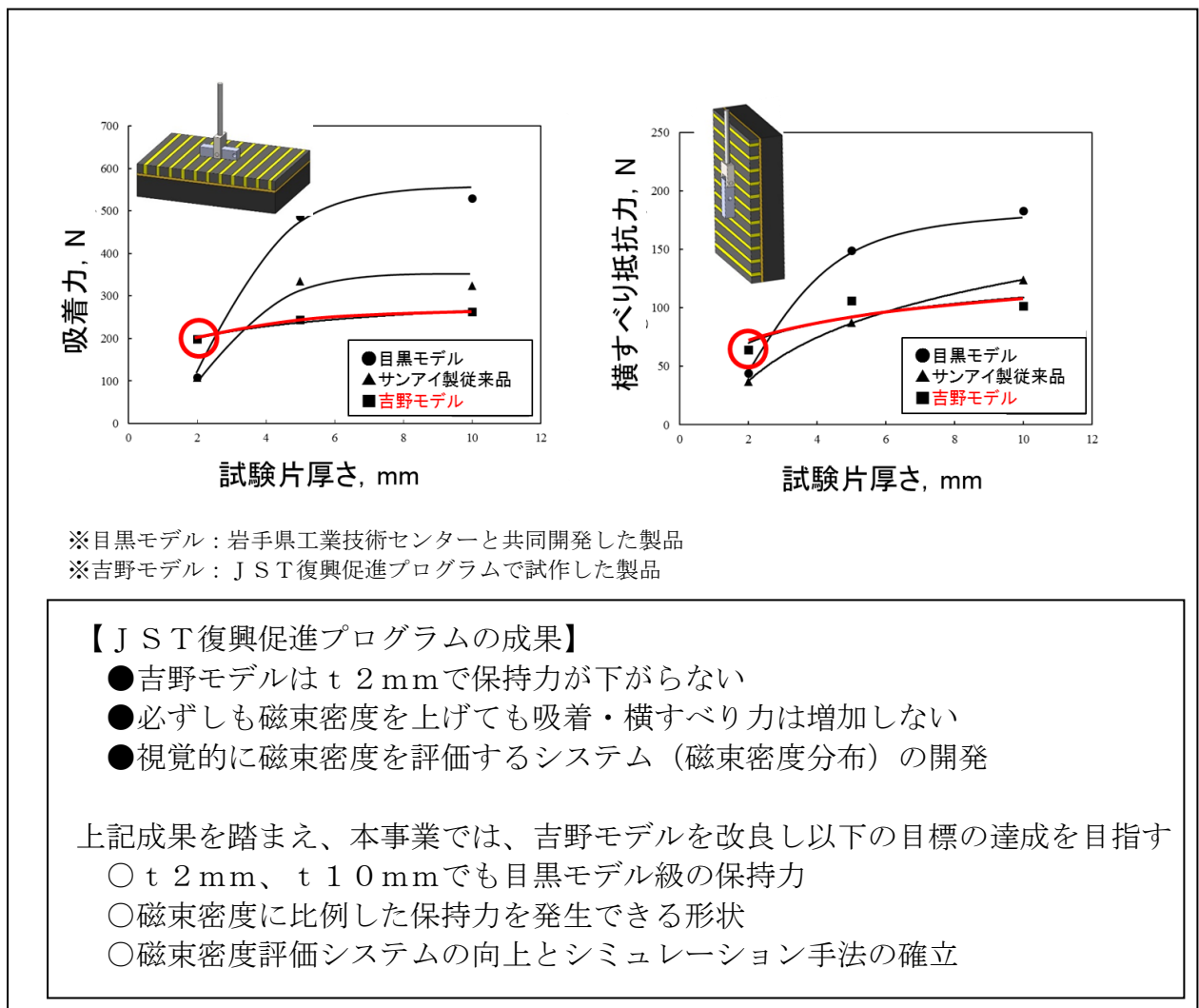
漆を使用した樹脂の加工例

■(株)サンアイ精機(岩手県奥州市、代表取締役:菊地 晋也 氏)

- ・ 支援テーマ: 「切削用永久磁石式マグネットチャックの開発」
- ・ 支援期間: 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月
- ・ 支援先概要: (株)サンアイ精機 (昭和 48 年創業、資本金 500 万円、従業員数 20 名)
- ・ 共同開発先: 岩手大学
- ・ 業務内容: 永磁式マグネットチャック等製造
- ・ 開発内容: 永久磁石式のマグネットチャックは、大きな電磁力を発生させることができる電磁石式のマグネットチャックと比較して、横方向へのすべりに対する抵抗力の強化が課題となっています。

(株)サンアイ精機では、岩手大学と共同で、磁石の配列等を工夫することにより、この課題を解決することを目指します。

本技術が実用化されることで、電気回路を持たないため小型・軽量化できるという永久磁石式の特徴を活かし、多軸加工機やロボットハンド等への採用など幅広い用途での活用が期待されます。



■(株)C&A(宮城県仙台市、代表取締役社長:鎌田 圭 氏)

- ・ 支援テーマ: 「非イリジウム系難加工性合金の線材化技術の開発」
- ・ 支援期間: 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月
- ・ 支援先概要: (株)C & A (平成 24 年設立、資本金 550 万円、従業員数 16 名)
- ・ 共同開発先: 東北大学金属材料研究所
- ・ 業務内容: 結晶材料の試作、特性評価、デバイス試作、コンサルティング
- ・ 開発内容: イリジウム合金などの高い融点を持つ貴金属は産業分野で幅広く使用されていますが、加工時の原料ロスの削減が課題となっています。

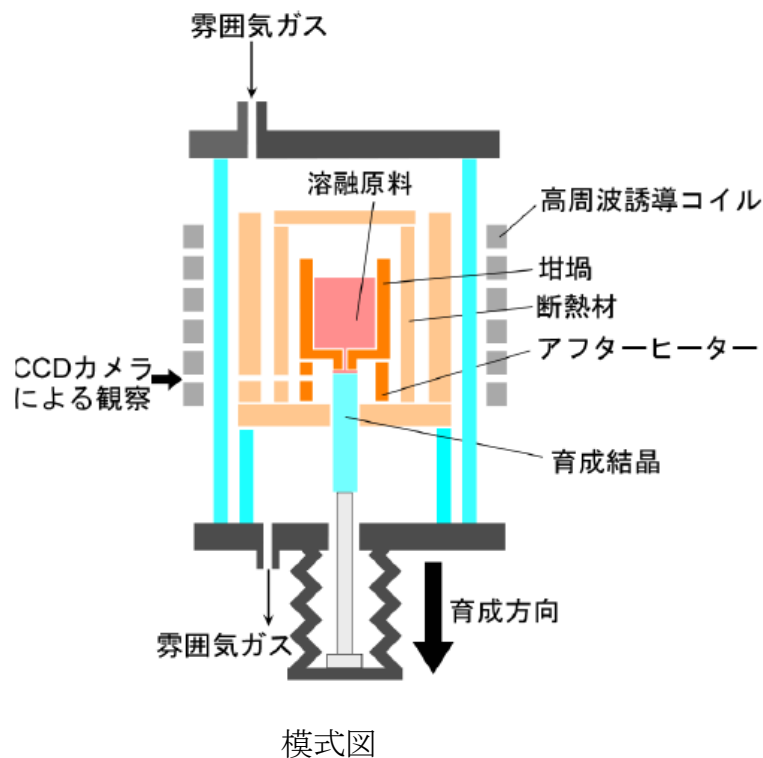
(株)C & Aでは、東北大学で開発したマイクロ引き下げ法*を金属向けに改良し、イリジウム合金のファイバー作製に世界で初めて成功しました。

本事業では、この技術をイリジウム以外の加工の難しい貴金属にも応用し、加工を可能とするものです。

本技術が実用化されると、加工コストが低減するとともに加工後の線材の耐久性が向上することで、自動車業界をはじめとした多くの産業分野でのコスト低減に貢献することが期待されます。

※マイクロ引き下げ法

融液成長による単結晶育成法であり坩堝(るつぼ)底部の穴から熔融原料を引き下げることで単結晶育成を行う。



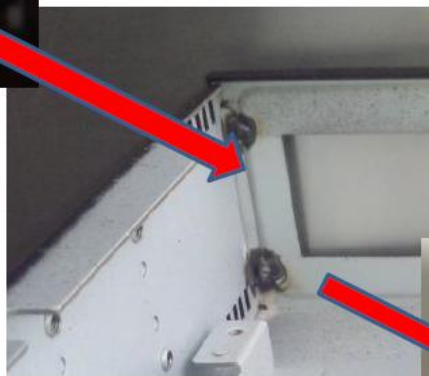


■(株)ソルテック(山形県米沢市、代表取締役社長:浅間 秀蔵 氏)

- ・ 支援テーマ: 「プレス曲げ加工カシメによる高強度で溶接不要な箱型形状コーナ部接合加工技術の開発」
- ・ 支援期間: 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月
- ・ 支援先概要: (株)ソルテック (昭和 53 年創業、資本金 1,000 万円、従業員数 18 名)
- ・ 共同開発先: 山形県工業技術センター
- ・ 業務内容: 各種金属プレス金型製品加工、各種治具機械部品
- ・ 開発内容: 箱型形状のコーナ部の曲げ加工には、通常溶接やねじ止め等が使われています。しかしながら、さび発生の可能性や加工後の見た目の悪さ(変色等)、コストなどが課題となっています。

本事業では、接合部分の形状を工夫することで、プレス加工のみで従来と同程度の強度とすることが可能な加工法の開発を目指します。

本技術が実用化されると、製造コストの低下や品質の安定化に繋がるとともに、箱型以外の様々な形状の金属板製品などへの展開が期待されます。



SOLTEC

※これまで溶接やねじ止めが必要であった箱型形状のコーナ部の加工をプレス加工のみで実現。



< 参 考 1 >

◇過去の支援案件の紹介

No.	助成先	所在地	支援テーマ	研究期間
1	(有)ハード工業	青森県八戸市	高速燃焼流を用いる金属粉末の製造技術と装置の開発	平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月
	東北大学金属材料研究所	宮城県仙台市		
2	(株)コンド電機	福島県浅川町	2人乗り電気自動車の開発	平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月
	東洋システム(株)	福島県いわき市		
3	秋田県産業技術センター	秋田県秋田市	WC-SiC 基超硬材料を用いた難削材加工用工具の開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	(株)東洋ドリル	秋田県羽後町		
4	大堀相馬焼協同組合	福島県浪江町	大堀相馬焼における代替材料及び新規デザインの開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県会津若松市		
5	(株)鈴木酒造店	福島県浪江町	山廃酒母からの有用微生物の分離選択と新商品開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県会津若松市		
6	(株)宮城化成	宮城県栗原市	光透性及び不燃性及び安全性に優れた複合材の研究開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	産業技術総合研究所東北センター	宮城県仙台市		
7	東北文化学園大学	宮城県仙台市	特殊濾材を利用した放射能除染機及び濾材カートリッジの開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	(株)アイワ・コーポ	福島県郡山市		
	(株)リアルトリート	福島県石川町		
	暮らしの科学研究所(株)	福島県郡山市		
8	会津大学	福島県会津若松市	群れ引率制御による水田除草システムのための移動機構の開発	平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月
	玉川エンジニアリング(株)	福島県会津若松市		
	(株)メカテック	福島県喜多方市		
	(株)北日本金型工業	福島県会津若松市		
9	(株)弘前機械開発	青森県田舎館村	バーチャルスライド装置高速化に向けた微振動性新装置の開発	平成 24 年 3 月～平成 25 年 2 月
	八戸工業大学	青森県八戸市		
10	(株)カサイ	新潟県新潟市	局所的土壌除染技術システムの開発・実証	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
	長岡技術科学大学	新潟県長岡市		
11	(株)東和	福島県本宮市	着用快適性に優れた防刃用衣料素材の開発	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県郡山市		
12	石巻自動車関連集積部会	宮城県石巻市	香り長持ちインテリジェント芳香器	平成 24 年 7 月～平成 25 年 6 月
	(株)モリス			
	石巻専修大学			
13	あおり藍産業協同組合	青森県青森市	青森独自の染料化技術を核とする「あおり藍」ブランド商品の開発、製造	平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月
	大和科学工業(株)	東京都江戸川区		
	青森県産業技術センター工業総合研究所	青森県青森市		
14	(株)パルメソ	新潟県長岡市	高効率発電用機器構造部材の微視損傷検出装置	平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月
	東北大学大学院工学研究科	宮城県仙台市		
15	(株)クラー口	青森県弘前市	低消費電力型顕微鏡用高輝度照明の開発	平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月
	(株)テクニカル			
16	(株)さんのう	宮城県仙台市	高性能な温調機能を持つ塗料の開発	平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月
	仙台高等専門学校	宮城県名取市		
	(株)TS 塗装技術研究所	宮城県利府町		
17	理研食品(株)	宮城県多賀城市	海草麺の開発と商品化	平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
	宮城県産業技術総合センター	宮城県仙台市		
18	(株)コムコム	宮城県仙台市	食用油酸化抑制装置『カラット君』の酸化抑制機能を向上させる新たな電極の開発・実証	平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月
	東北大学未来科学技術共同研究センター	宮城県仙台市		
19	アルバック東北(株)	青森県八戸市	アーク放電による新規ダイヤモンドコーティング装置の開発	平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月
	八戸工業高等専門学校			



20	(株)田村薬草農場グループ	福島県相馬郡新地町	甘草による家畜の免疫賦活作用による疾病の予防	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	NOSAI 宮城	宮城県黒川郡大衡村		
	北里大学獣医学部	青森県十和田市		
	日本全薬工業(株)	東京都千代田区		
21	ヤマカノ醸造(株)	宮城県登米市	秋田白神こだま酵母を利用した新しいドレッシングの開発	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	秋田県総合食品研究センター	秋田県秋田市		
22	(株)ディメール	青森県八戸市	冷凍棒寿司の再冷凍時の白蟻化防止法に関する研究	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	こむぎ工房			
	東北大学大学院農学研究科	宮城県仙台市		
23	(有)オйкаワデニム	宮城県気仙沼市	メカジキマグロを原料とした機能性動物性繊維の開発	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	宮城県産業技術総合センター	宮城県仙台市		
24	神田産業(株)	福島県須賀川市	ハニカム構造ダンボールによる防音室の開発	平成 25 年 10 月～ 平成 26 年 9 月
	(株)VIBE	東京都品川区		
	産業技術総合研究所	茨城県つくば市		
25	金升酒造(株)	新潟県新発田市	六条大麦生産の再生と地域ブランド焼酎の開発	平成 26 年 1 月～ 平成 26 年 12 月
	新潟薬科大学応用生命科学部	新潟県新潟市		
26	(株)日本アカモクサイエンス	福島県郡山市	「泳ぐ宝石」錦鯉のためのサプリメント開発	平成 26 年 1 月～ 平成 26 年 12 月
	小池獣医院	新潟県小千谷市		
	池田商店	福島県会津若松市		
27	三和油脂(株)	山形県天童市	米糠油の電気浸透圧搾製法の開発	平成 26 年 1 月～ 平成 26 年 12 月
	東北大学大学院農学研究科	宮城県仙台市		
28	大丸カイエイ(株)	宮城県石巻市	汽水飼育ギンザケ「桜銀」の品質的優位性の立証	平成 26 年 4 月～ 平成 27 年 3 月
	宮城大学食産業学部	宮城県仙台市		
29	(株)エムエステー	山形県天童市	加熱蒸気熱分解装置を活用した使用済み菌床の再生・利用検証と普及	平成 26 年 4 月～ 平成 27 年 3 月
	齋藤きのこ園	山形県尾花沢市		
	農事組合法人水鳥	宮城県栗原市		
30	(株)会津技研	福島県西会津町	六価クロムフリー樹脂めっき	平成 26 年 6 月～ 平成 27 年 6 月
	日立マクセル(株)	宮城県亘理町		
31	NPO法人未来産業創造おおさき	宮城県大崎市	次世代型小水力発電ユニットの実用化及び製品化	平成 26 年 7 月～ 平成 27 年 6 月
	(株)プロスパイン	宮城県大崎市		
	光電子(株)	宮城県大崎市		
32	(株)Heptech	宮城県塩竈市	ストッキング・タイツ等の着圧計測センサシステムの開発	平成 26 年 7 月～ 平成 27 年 6 月
	東北大学	宮城県仙台市		
33	(株)toor	福島県三島町	車両搭載加速度センサーデータ可視化によるインフラ劣化診断技術の開発	平成 26 年 10 月～ 平成 27 年 9 月
	東北大学	宮城県仙台市		
34	マルイ鍍金工業(株)	青森県八戸市	ILC 加速空洞用新規電解研磨液の開発と条件最適化(高安全性、低コスト化)	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	岩手大学	岩手県盛岡市		
35	(株)倉元マシナリー	宮城県名取市	CFRP 補修用自動スカーフサンディング装置の開発	平成 27 年 3 月～ 平成 28 年 3 月
	宮城県産業技術総合センター	宮城県仙台市		
36	(有)ハニー松本	福島県会津若松市	高抗菌・高酸化・脱アレルギー蕎麦蜂蜜の調製	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	東北大学	宮城県仙台市		
37	(株)ユニバーサルトライク	宮城県仙台市	電動アシスト走行とEV 走行機能を併せ持つ“三輪サイクルモビリティ”の開発	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	東北大学未来科学技術共同研究センター	宮城県仙台市		
38	(株)TESS	宮城県仙台市	足こぎ車いす駆動時の生体情報計測装置「ペダル組込式重心動揺計による足圧測定装置」の開発	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	(有)モミックスジャパン	宮城県仙台市		



39	白神手づくり工房(有)	秋田県能代市	乳酸菌「白神ささら」を使用した商品の機能性の研究	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	秋田大学教育文化学部	秋田県秋田市		
40	(株)大武・ルート工業	岩手県一関市	ネジ径 0.5 mm未満対応のネジ供給機の摩擦特性の解明	平成 27 年 4 月～ 平成 28 年 3 月
	東北大学多元物質科学研究所	宮城県仙台市		
41	(株)地球の恵	宮城県仙台市	100%天然由来原料で作る化粧品石けん	平成 27 年 6 月～ 平成 28 年 3 月
	仙台高等専門学校	宮城県名取市		
42	五光食品(株)	宮城県塩釜市	光照射乾燥法を適用した美味しい松島湾の牡蠣乾燥品の開発	平成 27 年 6 月～ 平成 28 年 3 月
	八戸工業大学	青森県八戸市		
43	丸友しまか(有)	岩手県宮古市	殻付牡蠣実入り計測技術の開発	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	鶴岡工業高等専門学校	山形県鶴岡市		
44	東洋刃物(株)	宮城県富谷市	堅巻きトイレットロールもきれいに裁断する刃物の開発	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	仙台高等専門学校	宮城県名取市		
45	(株)Piezo Studio	宮城県仙台市	粘性溶液中バイオセンシングに適したセンサ素子の開発	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	東北大学金属材料研究所	宮城県仙台市		
46	(株)県南衛生工業	宮城県村田町	ハザカコンポストを用いた硫化水素除去技術の確立	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	東北大学大学院農学研究科	宮城県仙台市		
47	(株)コスメティック・アイーダ	宮城県亶理町	新規米ぬか発酵エキスを使用した化粧品の開発	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	三和油脂(株)	山形県天童市		
48	アルテクロス(株)	福島県福島市	太陽光発電モジュール等用新規防草シートの開発	平成 29 年 1 月～ 平成 29 年 12 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県福島市		



<参 考 2 >

新事業開発・アライアンス助成事業の概要

1. 目的

本事業は、新技術の開発に向けて、東北の企業が産学連携または産産連携により取り組む共同開発に対して助成を行い、東北地域の企業の競争力を強化することを目的としています。

2. 応募資格

(1) 企業の要件

以下の全ての要件を満たすこと

- ・代表開発者は、主たる事業拠点を東北7県（新潟を含む）に置き、自ら技術開発と事業化を行う会社であること。ここでいう会社とは、会社法で定める会社を指す。
- ・1社単独での研究ではなく、共同研究先が1団体以上あること。ここでいう共同研究先とは、企業、大学等の研究機関、公設試験研究機関などを指す
- ・新市場・新流通チャネル・海外市場への参入を目指し、雇用創出、工場増設、投資誘発効果、東北地域の関連企業への発注増加、株式公開に繋がる可能性が見込まれる事業を実施している企業が対象となります。

(2) 開発技術の要件

以下の要件を概ね満たすこと

- ① 自社が保有する新規性・独創性のある技術であること
- ② 大学等、他の団体が保有する技術シーズを活用する場合には、本技術開発における利活用方法、アプリケーション等が新規性・独創性を持っていること
- ③ 食品等、生体に関わるシーズについては、その有効性、安全性等が、公的機関等により科学的に証明されていること
- ④ 類似の技術がある場合には、相対的にその技術の性能が大きく優れていること
- ⑤ アプリケーションの明確化が図られており、3年以内に実用化の見込みがある技術であること。ここでいう実用化とは、量産の開始、量産試作品・プロトタイプの開発終了、技術供与の開始、サービス提供の開始などを指す
- ⑥ その技術の実用化により、東北7県（新潟を含む）に所在する応募企業の収益向上が大きく期待できること
- ⑦ 自社のみの利益に止まらず、東北7県（新潟を含む）の経済的・社会的発展やそこに住む人々のモチベーション向上の喚起が期待できるような、話題性のある技術開発であり、公共の利益に寄与すること
- ⑧ 東日本大震災からの復興に資する技術開発であること

3. 助成金額

原則として100万円とする。

4. 研究成果の帰属

本助成事業の実施により発生した知的財産権は申請者に帰属することができる。

5. 募集および審査

通年で募集します。審査および助成の決定は、原則として四半期毎に、年4回行います。

■申し込み先 〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10（セントレ東北 11階）

東経連ビジネスセンター TEL 022-397-9098/FAX 022-262-7055

以上